



石浜だより

乙巳（きのとみ）1月。努力の成果が実を結ぶ年に

校長 安藤良介

2025年、新しい年の幕開けです。皆様におかれましては健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。石浜小の校舎や校庭は、新春のやわらかな日差しをあびて、温かく子供たちを迎えてくれました。

今年の干支は「乙巳（きのと・み）」です。「乙」は、植物の成長にたとえると、「種子の殻を突き破り、芽を出す状態」を意味していると言われていました。「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味します。この組み合わせは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しているとも言われています。また今年「へび年」です。「へび」というと、しばしば嫌われ者扱いをされがちですが、一方で、脱皮を繰り返して成長することや、その生命力の強さから、「再生」「復活」「長寿」を象徴し、縁起がいい生き物とされることもあります。今年石浜小学校は、117周年から118周年へ向かう年となります。これまでの歴史と伝統をもとに、一皮むけた、子供たちがさらに輝く学校になるよう、努力した成果が実を結ぶような出来事がたくさん起きることを期待したいです。

さて、1月は、新しい年の始まりであるとともに、学校にとっては3学期のスタート、一年間のまとめを始める月でもあります。今の学年のゴールに向かって、昨年4月から積み上げてきた力をもとに、新たな成功を目指して、何かにチャレンジする気持ちを育てる1月にしたいと思います。昨年秋の運動会と音楽会は、まさに日頃の学習や取組の成果が実った、大変心に残る行事となりました。保護者や地域の方々からもお褒めの言葉をたくさんいただき、子供たちの励みとなりました。

今年も子供たちの豊かな成長を目指して教職員一同心を込めて指導して参ります。本年も、本校の教育活動に対するご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

音楽会を終えて

子供たちは、夏頃から練習を頑張ってきました。音楽は形になるまで時間がかかるため、出来なくて諦めそうになったり、練習が辛いと感じたりしたことがあったと思います。練習の大変さを乗り越えた先の、皆で音楽を作り上げる喜び・達成感を感じてほしいと思い、指導して参りました。そんな中、子供同士で教え合ったり、励まし合ったりする頼もしい場面も見られました。皆で心をついにしながら、集中して取り組むことで感じられた楽しさは、何事にも代え難いものだと考えています。仲間と練習を積み重ね、様々な過程を経て、当日は一人一人、とても良い顔をして演奏していました。今まで頑張ってきたという思いと、本番に至るまでの保護者の方々の精神的な支えがあって、あのような良い表情が出ていたのではないかと感じています。改めて、保護者の皆様に、心から感謝申し上げます。

台東区教育支援館より

令和7年度の特別支援教育支援員を募集しています。

特別支援教育支援員は、生活のスピードがゆっくりであったり、自分の気持ちを上手に表現することが苦手であったりする子どもたちをサポートします。特別支援教育支援員が、子供たち一人一人の状況に応じて、適切な支援を行うことで、子供たちは学校園で安心して健やかな生活を送ることが出来ます。

教育支援館では特別支援教育支援員として勤務していただける方を募集しております。勤務をご検討いただける場合には、台東区公式ホームページに掲載している募集要項をご覧ください、ご応募ください。募集期間及びホームページ公開期間は令和7年1月中旬頃から下旬頃までの予定です。